

NPO法人さやま保育サポートの会事務局：〒350-1304 埼玉県狭山市狭山台 3-8-12 よつばのおうち内



TEL&FAX：04-2957-0451 MAIL：yotuba-2006@qj9.so-net.ne.jp

http://sayama-portal.jp/sayama_hoiku_support/

2026年、ひのえうま（丙午）年。少子社会の丙午年の新年に寄せて

新しい年になりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。今年は60年に一度のひのえうま（丙午）の年にあたります。丙午は火の性質を強くもつ年であるといわれ、八百屋お七の伝説では丙午年うまれの女は気性が激しく災いを招くとされ、60年前の1966（昭和40）年には前後年よりも出生数が約25%減少し、この年の合計特殊出生率は1.58となりました。しかしながら1989（平成元）年の同出生率が丙午の年を下回る1.57を記録し、日本は「1.57ショック」を自覚することとなり、少子化対策に本気になりました。ところがどうでしょう、2024年の同出生率は1.15を示し、2025年の出生数は67万人に及びそうにありません。出生数では60年前の丙午年に生まれた1,360,974人の半分以上です。

子どもが生まれなくなった社会はどんな世界になるのでしょうか？20年前の2006年に公開された「トゥモロー・ワールド」（原題はChildren of Men：人類のこどもたち）という映画をご存じでしょうか？移民施策や戦争が題材となる作品のラストで、いのちが誕生することは人類にとって希望そのものであることを感じます。人口減少、高齢化の進んだ日本は、ほんとうに「こどもまんなか社会」に向かっているのか、当然のことながら「こどもだけまん中社会」になってもこども以外の人は幸せにはなりません。丙午伝説は、江戸の大火事の時に被災したお七が避難所で出会った吉三郎という青年に恋をして、復興後なんとか再会したいと願うばかりに放火をしてしまうお話しです。もし、お七と吉三郎が再会し、夫婦になって子だくさんで幸せに暮らしていたなら、きっと違った未来が描かれていたかもしれません。1966（昭和40）年に生まれた女性は、きっと幸せな60年を生きてこられたことでしょう。そして、2026年に生まれる丙午のこどもたちも幸せでありますように願っています。 代表理事 大賀明子

子育ては地域も巻き込んで

こどもまんなか

新年おめでとうございます。昨年も、当法人の各事業の運営に多くの方々のご支援・ご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。さて、少子化や核家族化が進み、子育てを取り巻く環境は大きく変化しています。子育ては本来、家庭を中心に行われるものですが、もはや家庭だけで抱え込める時代ではありません。少子化の今だからこそ、「地域」も巻き込んだ子育ての意味をあらためて考えていくことが大切なのではないでしょうか。子育ては、うれしいこともあり、思うようにいかず不安になることもあります。毎日頑張っている中で、「少し誰かに頼れたら」と感じることもあります。そんなとき、身近な地域の存在が、子育てをそっと支えてくれることがあります。近所で交わす挨拶や、子どもを気にかけてくれる人のまなざしは、心を和らげる力があります。また、子どもにとっても、地域の中で多くの大人と関わる経験は、安心や思いやりを育む大切な時間になります。忙しい保護者にとって、地域と関わることのハードルを高く感じる方もいるかもしれません。しかし、地域とのつながりは、あえて頑張らなくても無理に広げる必要はありません。日頃からの近所の人との挨拶、同じ保育園・学校の保護者同士での軽い情報交換、地域イベントへの子どもとの参加など、日常の延長の中で無理なく、関わっていただくだけで十分です。大切なことは、顔を知る人が身近な地域に一人でもいること、困ったときに話せる先があることです。一人で抱え込まず、地域の力を少し借りながら、自分らしい子育てを続ける、そんなことを意識する一年にしてはいかがでしょうか。

私たちNPO法人さやま保育サポートの会も、地域に根ざす子育て応援団として、引き続き、全力で応援をしてまいります。どうぞ、今年もよろしくお願いいたします。 副代表理事 宮本雄司

NPO 法人 さやま保育サポートの会では
現在、7つの事業所が活動しています！

NPO 法人さやま保育サポートの会は、地域の「子育て」をサポートする事業（主に出産直後の保護者を対象とした訪問型子育て支援事業「ホームスタートさやま」、3歳までの親子を対象とした遊び場「子育てプレイス奥富」と「子育て」をサポートする事業（2歳児までの小規模保育事業型の認可保育施設「よつばのおうち」、狭山市の指定を受けて小学生の放課後を支援する奥富・柏原小第一・新狭山小・御狩場小の4学童保育室）を行っています。

令和7年度も残りわずかとなりました。どの事業所も充実した日々を過ごすことができたのではないのでしょうか。今年度の成果をどうぞご覧ください。

狭山市学童保育室
指定管理者
保育サポート事業

保育サポート事業

小規模保育事業・一時保育事業

よつばのおうち

年明けの保育は、凧あげ、コマ回し、福笑いでスタート。日本に古くから伝わるお正月遊びを、みんなでワイワイ言いながら楽しみました。今年は長いお休みだったせいか、おうちモードから園生活に切り替えることに少々戸惑う子もいました。それでも、七草粥を食べ、鏡開きをする頃には、いつもの元気な姿に戻り、にぎやかな日々を送っています。



2025年度も残すところ3ヶ月を切り、日々の生活の中で子どもたちの成長を実感しています。列になって並んでお散歩に行くのが上手になり、エプロンを外して食事をするようになった2歳児。お友だちに「どうぞ」とおもちゃを譲れることも増えました。



靴や靴下を履くことに挑戦中の1歳児。スイッチが入ると、自分のペースで取り組む姿が見られ、傍らでぐっと見守る時間が流れています。

0歳児は、歩行ができるようになってからは止まることなく動き回り、見守る大人は目が回りそう…。



今年は午年！子どもたちの成長を喜び合い、小さな歩みを重ねながら、みんなで大きく前へと進んでいければと思います。

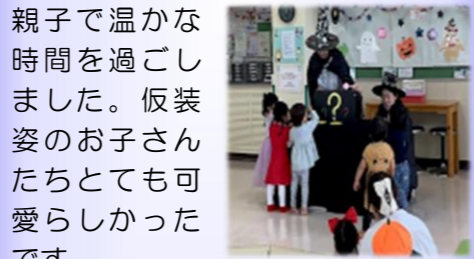
子育てサポート事業

子育てプレイス受託事業

子育てプレイス奥富

子育てプレイス奥富は、0歳から3歳の親子が安心して遊び、交流できる場所です。フロア内は大きな窓から暖かな日差しが差し込み、四季折々の景色を楽しめます。見渡しのよい広いフロアには、大きなすべり台やボールプール・トランポリン・シーソーなど、多くの玩具がそろい、お子さんたちは安心した表情でお気に入りの遊びを見つけ、身体をたくさん動かして過ごしています。

事業も幅広く実施することができました。10月には「いっしょにあそぼ！ハッピーハロウィン」、12月には「クリスマス会」など実施し、事業の雰囲気を楽しみながら、簡単な製作にも取り組みました。



親子で温かな時間を過ごしました。仮装姿のお子さんたちとても可愛らしかったです。

今年も、みなさんに楽しんでいただける事業を予定しております。是非、お気軽にお越しください。



みなさんにお会いできること楽しみにしています。本年もどうぞよろしくお願いたします。

子育てサポート事業

訪問型子育て支援事業受託事業

ホームスタートさやま

令和7年度も後わずかになりました。訪問は1月現在、37件の家庭に伺っています。

三つ子ちゃん、ふたごちゃんのご家庭にも伺い、一緒に遊んだりお出掛けしたりの支援をしています。「こんな支援があることを知らなかった」と言われる事もあり、もっと知って頂く努力を、とっています。

今後3ヶ月は、運営委員会、研修、ボランティア会議等を予定しています。



～子育て中のママ・パパへ～

一緒におしゃべりしたり、買い物、公園、プレイス等にお出掛けしたりしませんか。

申し込みはメール、または電話で・・・お気軽にご連絡ください。

支援をして下さる方も募集中です。ご連絡をお待ちしております。



奥富学童保育室

奥富学童保育室は、狭山市でも田んぼにかこまれ、富士山を望む事ができる素晴らしい環境の中にあります。すぐ近くには奥富公民館があり、年間を通して様々な事業にお声かけをいただいております。

本年度も夏休みには「戦後80年記念映画会」や「西武鉄道社員による正しい電車の乗り方講座」に参加したほか、グリーンカーテン（ゴーヤ）、オレンジガーデンプロジェクト（マリーゴールド）、ど根性ひまわりの植え付け、さらには「かかし祭り」や「星空観測会」など、多くの貴重な体験をさせていただきました。



星空観測会



ゴーヤの植え付け

また学童からもハロウィンに仮装した子ども達がお邪魔してお菓子を配っていたり、クリスマス会にサンタクロースになっていただいたりご協力をお願いしております。

これからも小学校や公民館をはじめとする地域の方々と密に連携を図り、子どもたちの健やかな成長を共に見守っていきたくと考えております。

柏原小第一学童保育室

にぎやかすぎるくらい元気いっぱいの柏原のこどもたちですが、にぎやかさの中に自分というものをしっかりと築き上げてきているように感じます。学童は放課後の自由な時間を確保し、こどもの成長を見守る場所です。約3年間の放課後の自由な時間を満喫して楽しかった思い出と共に学童を卒業してほしいと思います。



友達・保護者・職員とのぶつかり合いもありますが、それはこどもたちが大きく成長するためのステップです。認め合い、尊重し合い、遊びを通して同じ時間を共有する仲間との心の交流は、何にも代えがたいものです。

柏原小学童のこどもたちは、良い自己主張ができます。アイデアもあります。活気もありすぎるほどあり、やる時はやってくれます。課題は協調性・協力性です。今年度もあと2か月。自分も友だちも大切だと思える場面を大切に、最高の遊びや思い出を作っていきます！



新狭山小学童保育室

年度初めの写真に比べ、どの子の顔つきもとてもしっかりしてきました。話し合いで約束を決めることも上手になってきています。毎日、学校や学童でいろいろな人と関わりながら、自分のいろいろな思いを言葉で伝えることの大切さ、相手の思いに耳を傾けることの大切さを学んできたからではないのでしょうか。それでもまだ自分の話なんて聞いてもらえない、これ以上嫌なことを言われたくない…という不安な気持ちを抱えることがあります。その気持ちを受けとめ励まして、伝える勇気が出ない時があります。そんな勇気を出せない日があってもいいとも思っています。

そんなことを繰り返しながら、自分の気持ちが伝わった時の嬉しさ、相手の気持ちに気づけた時の嬉しさをゆっくり知ってほしいと思っています。間違いなく子ども達は成長しています。これからも、子ども達の気持ちに寄り添い、見守っていきたくと思っています。



御狩場小学童保育室

今年度も残り2か月となり、子どもたちは毎日全力でそれぞれに思いっきり遊んでいます。クリスマス会ではピンゴ大会、ケーキバイキング、映画鑑賞会などで楽しみました。

学童での様々な体験を通して、年度初めの頃に比べたらずいぶん成長したなあと思います。それでも友だちと意見が違って思いが通らない事も学童生活の中ではたくさんあります。どう自分の気持ちをコントロールすればいいのか、どういう風にお友だちと関わっていけばいいのか、まだまだ成長途中です。手が出てしまったり、大きな声が出てしまったり、いろいろな形で自分の気持ちを表現してきます。そんな時、大人に優しく声をかけてもらったり、諭してもらったりする事で、人に優しくすることや相手の気持ちを汲むことを学んでいってくれたらいいなと思っています。



職員一同気を引き締めて子どもたちの支援をして参りますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

活動予定

- 毎月 第1月曜日
子育てプレイス奥富打合せ(16:30~)
- 毎月 第1木曜日 HS さ調整員会議
(9:30~市民大学教室3)
- 毎月 第1土曜日 事務局会議(9:30~)
運営委員会(10:30~)
- 毎月 第2木曜日 学童保育室長会議
(9:00~奥富学童保育室)
- 毎月 25日
よつばのおうち保育会議(13:00~)
- 1月 ホームスタートさやま運営委員会
- 5月 令和7年度第1回理事会
- 5月 令和7年度通常総会(第20回)
- 6月 評議員会

NPO 法人会員の状況：

正会員 17名 準会員 11名

賛助会員 31名

会員の方々の支援が会の基盤です。新しい会員さんを募集しています！また、会費の納入は済ませましたか。よろしくお願いいたします。

子どもと遊んだり、おやつを作ったり、季節の行事の計画・準備、保育室の環境整備など、やりがいのあるお仕事です。
チームで保育にあたるので、土曜日もお休みがとりやすく、子育てとの両立もできます。

スタッフ大募集！

学童でお仕事してみませんか！

職 種	学童支援員、補助員
給 与	1200円~
年 齢	外で子どもたちと遊べる方(応相談)
勤務場所	奥富学童、柏原小第1学童、御狩場小学童、新狭山小学童、 のいずれか
勤務時間	13:00~19:00 のうちの支援員5時間、補助員4時間 シフト制 週3~5日(応相談)
そ の 他	社会保険加入可 有資格者優遇

お気軽にお問合せ下さい。

連絡先：NPO 法人さやま保育サポートの会
04-2957-0451

みんなの学習会のお知らせ

「隣る人」

〈誰もひとりでは生きられない。〉
親と一緒に暮らせない子どもたちと
“隣り合う”大人たち
その日常を8年間にわたって撮り続けた
ドキュメンタリー

日時：2月11日(水・祝日)

入場 9:30~ 上映 10:00~

場所：よつばのおうち、柏原第一、奥富、
新狭山第一・第二 御狩場小各学童
子育てプレイス奥富

それぞれご利用の
事業所にてご鑑賞
ください。

対象：NPO 法人
に関わる方、
利用者親子等

※預かり保育の
予定はございません。



指定管理者決定のお知らせ

この度、さやま保育サポートの会は2026年4月からの5年間、御狩場小及び新狭山小第一・第二学童保育室の指定管理者として運営を継続することが決定しました。

これもひとえに日頃よりご理解とご協力をいただいている保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。今後も、子どもたちが安心して過ごせる放課後の居場所づくりを大切に、安全で質の高い学童保育の提供に職員一同努めてまいります。

引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。